



### 新年度を迎え

まごころレフト・ライトも新年度を迎えることが出来ました。

レフトは2名、ライトは3名が卒業し、それぞれが生活支援施設や一般企業へと進み、新しい春を迎えました。

今年度卒業した子ども達は、まごころのデイで10年近くを過ごしました。『卒業を祝う会』では、まだ小さかったころの写真をプロジェクターで観たり、本人の一番好きだったおやつや食べ物をクッキングして楽しく食べ、皆で思い出に浸りました。

最後に、まごころでの思い出の写真集とまごころ卒業証書を手渡し『卒業を祝う会』を終えました。

本人も皆も別れを感じ、どこことなく寂しそうでした。別れがあれば出会いもあり、レフトで小学校を卒業した子ども達がライトに移り、レフトも新しく入ってきたお友達と新たなスタートを切りました。

獅子も門出を祝いました



### デイサービス通信

#### 花見の宴



今年は桜の開花が早まりそうとのことで、3/28・30・4/1に毎年恒例の花見田楽を行いました。

28日と1日は天候に恵まれず、室内での昼食となりましたが、30日は風も無く穏やかな日和となり、公園の桜の木の下で花見の宴を開きました。

午前中には、利用者さんと手分けして昼食作りを行いました。炭火で焼く豆腐田楽は今年も最高の出来でした。桜はチラホラ咲き始めたばかりでしたが、戸外で頂く食事は格別で、皆「気持ちいいねー」「おいしいねー」と特別な味に食が進みました。食後に、皆で「さくら さくら」を大合唱・・・春を満喫しました。



### 心っれづれ

#### 「私が社会福祉士になった理由」

私は高齢者の相談窓口で社会福祉士として働いています。今日は社会福祉士を目指したきっかけをお話したいと思います。

私が6年生の時に手の筋肉を動きやすくするため手術を受ける事が決まり、始めは卒業する3か月前だったので入院したくない一心でごねていました。子供の力では逆らえず入院することが決まりました。始めは嫌だった入院生活も子供の時はとても従順だったのか1週間もしないうち沢山の友達が出来て、看護師さんやリハビリの先生とも心を開いていきました。

入院中のある日の事、ボランティアに来ていた日本福祉大学の学生に勉強を教えてもらう機会がありました。その時は特に感じていませんでしたが、入院期間が終わり、ふと自分のところの中で家族や入院していた病院の先生をはじめとするスタッフ、友達、いろんな人に支えてもらっていたことに気がつきました。

元気で暮らせている自分を感じ、私には何が出来るんだろうと考えた時、自分の身近に感じていた福祉や医療の道に進みたいと思いました。その思いを胸に抱いて、一直線に現実へと向い社会福祉士になりました。

今回中学生のころボランティアで行ったまごころさんから通信を書いてほしいと言われた時は縁かもしれないと思いました。高齢者の相談窓口で働いて日々の業務や相談に追われ、四苦八苦の毎日です。職場の上司・先輩をはじめ地域の方に支えてもらっています。まだ未熟ですが、1人でも多くの人に顔を覚えてもらい「あの人に出会えてよかった」と言われる支援者になれるよう頑張ります。

社会福祉士 酒井麻希



### ヘルパーだより

NO. 46

氷川きよしの大ファンのAさん(81歳)は、「若い頃にはあちこちコンサート会場に行ったよ！」と元気な声で眼を輝かせてお話しして下さいます。

眼が不自由でおひとり暮らしの為、現在は訪問介護で週に3回の調理と障害福祉で週に2回の買い物や美容院など外出の付き添いを、まごころでお手伝いしております。

買い物の際には、「どっちの野菜がおいしそうかしら？」と不自由な眼で覗き込むように品定めをされ、ヘルパーの助言のもと、ご自分で決めて買われています。その後、ご自宅でヘルパーと相談しながら、メニューを考え調理に取り掛かります。Aさんも、自分でできる下ごしらえまで、お手伝いして下さいます。出来上がった品を、「美味しい！美味しい！」と待ちきれないかのように召し上がってくださるので、ヘルパーのやる気も高まります。

また、昨年末には、音声で時刻を知らせてくれる音声デジタルウォッチと、音声体温計を購入されて、便利な生活になりました。一宮市に申請すると、日常生活用具給付券が頂けて、基準額の超過分のみ本人の負担になります。

2月には同行援護で、名古屋のフォーラムに参加され、盲目のバイオリニスト増田太郎さんの生演奏を聴かれ、感動されました。

これからも、自分らしく楽しく生活をして頂けるよう、5人のヘルパーが協力して支援していきたいと思ひます。



#### 利用者さんからのことば・・・

ヘルパーさんが来てくれるのを楽しみに待っています。

これからもよろしくお祈りします。